

令和7年度第2回天童市総合教育会議議事録

総務部総務課

1 日時 令和8年3月24日（火）午前10時45分から午後0時まで

2 場所 本庁舎「3階会議室」

3 出席者

(1) 出席構成員

天童市長	新 関 茂	教育長	松 田 義 彦
教育委員	村 山 晴 香	教育委員	松 村 昌 子
教育委員	大 内 あゆ子	教育委員	工 藤 昭 広

(2) 説明のため出席した者の職氏名

教育次長	松 本 孝 志	学校給食センター所長	森 谷 英 明
学校教育課長	伊 藤 顕 吾	生涯学習課長	押 野 一 貴
教育総務課課長補佐兼庶務係長	村 山 広 子		

(3) 事務局職員の職氏名

総務部長	結 城 洋 史	総務課長	山 口 淳
総務課課長補佐兼行政係長	丸 子 正 彦		
総務課行政主査	佐 藤 佳 行		

4 議事録署名員 教育長 松 田 義 彦

5 次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 協議・調整事項

ア 教育大綱に基づく令和8年度の教育方針について

イ 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について

(4) 閉会

6 会議の内容

発言者	発言内容
丸子課長補佐 (司会)	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>(1) 新関市長</p> <p>(2) 松田教育長</p>
新関市長	<p>3 協議・調整事項</p> <p>暫時、議長を務めさせていただきます。</p> <p>まず、天童市総合教育会議運営要綱第4条第2項の規定により、議事録署名員を指名させていただきます。</p> <p>松田教育長にお願いしたいと思います。</p>
松田教育長	<p>はい。</p> <p>(1) 教育大綱に基づく令和8年度の教育方針について</p>
新関市長	<p>最初に、「教育大綱に基づく令和8年度の教育方針について」説明を求めます。</p>
松田教育長	<p>(資料に基づき説明)</p>
新関市長	<p>ただ今説明がありましたが、皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。</p>
村山委員	<p>児童福祉審議会に参加した時に、幼稚園や保育園では少子化に危機感を持って運営をされているとお聞きしたが、高校についても先ほど教育委員会で話題になった。少子化で高校の定員割れが多く、それに加えて今年度から自己推薦が始まった。自己推薦だと早い段階で決まるが、それ以外の子どもたちは高校に入るまでいかに勉強を継続させるかが難しい問題だと親としても思った。また、試験を受ける子どもたちのモチベーションが下がらないようにするため、どのように指導すればうまくいくのかなと思った。</p>

	<p>自己肯定感という話があったが、SNSが子どもたちの中で浸透していて、世の中をある意味広く見え過ぎる点があるのかなと思った。SNSを見るとたぶん加工されていると思うのですが、見せ方が上手な人がすごく溢れていて、それが分からずに一部の側面だけを見てしまい、自分の良さが分からなくなってしまう傾向があるのではないかと思う。</p> <p>自分は何が好きでどんな人なのか、そのようなことをじっくり考える時間が大事ではないかと思う。自分を知ることによって今何を勉強すれば良いのかに気付くことがあると思う。</p> <p>子どもたちが山形にいてくれるためには、人とのつながりが大事だと思う。小学校と中学校のつながりはあると思うが、中学校と高校のつながりはあまりないように保護者としては思った。また、山形が大好きで来てくれている大学生たちとのつながりがあれば、山形にいてくれるきっかけになるのではないかと思った。</p>
松田教育長	<p>高校も定員割れしている状況にあるが、今後高校と市内中学校とコラボし、交流したいと考えている。</p>
大内委員	<p>学力の低下や自己肯定感が低い話があったが、一人一人のニーズに対応する教育を充実することで、その子どもが自信を持ち、学力が向上してくこともあるのかなと。自信がつくと、他の事に対しても積極的になるので、全ての子どもに対しては難しいと思うが、その子どもの良いところを伸ばしてもらえれば。先生方は大変かもしれませんが、一人一人のニーズに対応していただければと思う。</p> <p>子どもが安心できる居場所づくりとありますが、職員の異動の資料を見ると、新規採用職員が多い印象で、新規採用職員も安心できる居場所が必要ではないかと。子どもたちだけではなくて、新しい先生たちにもそういう環境があることで、途中で辞めずに続けてくれたらいいなと思う。</p> <p>市立図書館がどんなにすごいものができるのかわくわくしているが、その中でイベントやアトラクションを充実させていただき、あそこに行くと楽しいと感じていただけるような図書館になったらいいのかなと思う。</p>

松村委員

私たちが小学校に入学した時に、さあ勉強しようという言葉はあったと思うが、学ぶことがなぜ人間に必要なのか、人間は学んで成人し、社会に出たら学んだことが活かされるのかなという疑問を持っていた。一つ一つの教科書を渡される時に、国語の教科書であれば最初のページになぜ国語を学ぶのかなと、国語とはどういうことなのかなと、そういうことがしっかり書かれている前書きを読んだ覚えがあった。子どもたちも子どもたちなりに何でこんなに勉強、勉強と親から言われ、社会から求められているのかなと思っている。まだ社会に出ていないので家庭と学校を往復しているだけですが、ここで学ぶことによって友人がたっくさんでき、そして社会に出た時にこのように活かしていけるんだよということを語る必要があるのかと感じている。

A Iも進化していろいろな社会の激変、世界レベルでの戦争や温暖化や目まぐるしい変化の中で子どもたちがどのように感じて生きているのかなと。私は孫を見てしかわからないが、意外と自分たちが子どもだった時と同じように素直に学校に行き勉強して、勉強いやだなと思いつながら宿題をやって、そういう形は変わっていないんだと思う。今、社会と教育の間で何が足りないのかなと考えている。子どもたちが地域の企業等の社会とつながるところが今まではなくて済んだんだと思う。A Iがどんどん進化してきてタブレットも導入されるとそういうわけにはいかない。教育も先を進んでいかないと社会とのバランスがとれない。子どもたちは私たちより早くそれを察知して、いろんなA Iとかを使っていく時代になっており、その中で私たち大人が子どもたちに求めるもの、義務教育で子どもたちに何をしっかり示していくのが重要になってくる。

部活動の地域展開が非常に楽しみ。地域展開という新しいやり方で地域とつながり、学んでいくことがこれからの教育の基本だと思う。

天童市にはすばらしい人がたくさんいて、すばらしい社会、企業があって、そこに子どもたちが芸術や文化、スポーツを通してつながっていきける舞台を私たちは積極的に推進していければおもしろいと思う。私はこれを一つ一つ丁寧にやっていけば必ず子どもたちにとってより良い形になり、学校に行きたいと思える、楽しい学校になるのではないかと期待

<p>工藤委員</p>	<p>している。</p> <p>自己肯定感を上げるためのアドバイスをしてくれる方の一人が教員ではないかと。どれだけ教員が一人一人の良さを見つけ、ちょっとした声掛けをして伸ばしてあげられるか。教員の授業力をもっと上げないと、学校の授業が楽しくて学校に行きたいと思わなくなってしまうのではないかと。我々も年に何回か学校を訪問しているが、タブレットを使い、大きなモニターで操作できる人が指導力のある人ではない、子ども一人一人をどれだけ見てあげられるか、そして言葉を掛けてあげられるか、そしてその子どもの良さを見つけてあげられるという教師をこれからもっともって育てていかなければならない。学校現場にはいろいろな研修はありますが、自主的に自分たちでグループを組み研修してみたいと考えている方々に、教育委員会としての支援として、予算的な支援の他に、指導主事のアドバイスによる支援が、今後もっと必要になってくるのではないのかなど。</p>
<p>新関市長</p>	<p>他にございますか。</p> <p>(特になし)</p>
<p>新関市長</p>	<p>(2) 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について</p> <p>次に、「教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について」の「複式学級開設に伴う学校運営と教育委員会の支援について」説明を求めます。</p>
<p>伊藤学校教育課長</p>	<p>(資料に基づき説明)</p>
<p>新関市長</p>	<p>ただ今説明がありましたが、皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。</p>
<p>工藤委員</p>	<p>複式学級の可能性があった時に、人数が少ないから統廃合する考え方にはならなかったのか。学校は地域に残していきたいというのが市や教育委員会としての方針だと説明があっ</p>

<p>松本教育次長</p>	<p>たところですが、現実的に地域の方と直接会って話をした時に、統廃合を求めるような意見はなかったのかお聞きしたい。</p> <p>地域の方からは、小規模で子どもたちが勉強するのは不安なので、大きい学校、人数のいる学校で学ばせた方が良いのではないかという意見もあった。小規模校では心配だという声もあるが、学校を残したいという意見の方が多いのではないかと思っている。</p>
<p>伊藤学校教育課長</p>	<p>保護者と地域の方の意見でだいぶ違うのかなと私の感覚で思っている。先日、他市で統廃合を進められてきた方の話を聞く機会があり、地域でそのような説明会を開催する時に、地域の方が率先して学校を残してほしいと言うので、なかなか保護者の方は話ができないと。学校は学校の中で保護者の声を聞いていただき。そこらへんも丁寧に進めていかないと乖離していくことがあるので気を付けた方がいいと聞いたことがあります。実際、地域等を回る中で表立ってそういう意見を言うことが、周りからの目もあり、なかなか言いづらいところもあるんじゃないかと思う。複式学級を進めながら保護者の真の声を拾い上げていくことが大事なのかなと思っている。</p>
<p>工藤委員</p>	<p>教育委員会の人的支援ということで、誰が担任になるかはわかりませんが、経験のある教員を人事の面で配慮いただきたい。</p> <p>保護者からすると非常に心配になる。二つの学年で片方に先生がいない時に大丈夫なのかなと。それに配慮するため、来年度から荒谷小学校に人的支援をすることで進んでいるということだが、今後、寺津小学校や津山小学校もそういう状況になるということで、どういう形の支援が良いのか考えていかないといけない。</p>
<p>伊藤学校教育課長</p>	<p>私も複式学級の担任をしたことがあるので、その中で育つ子どもたちの姿が確実にあって、上の学年を見て育つので見通しが立ちますし、上の学年は去年習ったことを教えてあげることで学び直す機会となり学習の定着が図られる良さがある</p>

<p>村山委員</p>	<p>ったなと思っている。</p> <p>教員の資質や能力には差があり、必ずしも力のある教員がそこの担任になるとは限らない状況の中で、その先生一人にではないですが、お任せしてしまうということで大きな負担になってしまう部分は考えていかなければならないのかなと思っている。</p> <p>複式学級に対する指導の効果的な方法についても探りながら進めていきたいと思っている。</p> <p>複式学級の良さを前向きに保護者の方に伝えていただけると考え方も変わるのではないかと思う。地域の方としては、学校が無くなるというよりは地域の思い出、宝物が無くなるというところがあると思う。残していきたいこともわかるのですが、やはり子どもを育てている人たちからすれば、先ほど話があったとおりに難しいと思う。良い面での保護者の方々の視野を広げるためにも、もしかしたら子どもたちが色々な環境で生きていく中で地域だけでなく、ちょっと違ったところから来た人たちと触れ合うことも大事なのかなと思う。</p>
<p>松村委員</p>	<p>この課題について、私はどんどん推し進めていく感覚でないと前にいかないと思う。そういう時こそ皆まっすぐ前を見て複式学級をがんばっていこうと。例えば担任の先生と指導の補助の先生も良い関係になりながら引っ張っていく姿勢を子どもたちに見せれば、年代が違う子どもたちも何かを学んで私たちも仲良く、という環境ができるのではないか。</p> <p>学校は村のシンボルなので、それを残したいという気持ちは当然自然の流れかと思う。統廃合で学校が無くなっても、思い出のある建物を何かに利活用するような考え方もあるかと思う。</p>
<p>新関市長</p>	<p>他にございますか。</p> <p>(特になし)</p> <p>4 閉会</p>